

〔豊後高田市〕 田染荘小崎（たしぶのしょうおさき）地区

田染荘は、宇佐神宮の宮方の「本御荘十八箇所」と呼ばれる根本荘園のひとつとされており、千年前と変わらぬ区画、村落の景観を現在まで残しています。

平成13年度からは、「田園空間整備事業」を実施することにより、水田の形状をそのままに残し、地域の景観等に配慮した整備が行われました。

平成19年度から重要文化的景観の調査を行い、平成22年度には、国の重要文化的景観に選定され、残りの里山エリアも平成28年に追加選定されました。中世から残る田染荘小崎の農村景観が、文化的景観として高い価値があることが全国的に認められています。

田染荘小崎では、「御田植祭」や「収穫祭」、「ほたるのタベ」、「案山子コンクール」、水田にイルミネーションを灯した「千年のきらめき」など中世の景観にマッチしたイベントが実施され、地域の魅力を発信しています。

